



「はあっ……♡はあああっ……♡
ねえっ……そのあなたあっ♡
私のケツマンコお♡犯してくれませんかあ♡
すっごく気持ちいいですよお♡」



「あっはっ♡ハメてくれるんですねっ♡
さあごっちにきてくださあいっ♡
あんっ♡お尻ヒクついちゃうっ♡
すぐハメてもらって大丈夫です♡
オマンコよりも気持ちいいですよお♡」



「おおおおおおお——つぷっ♡
きたあああ♡アナル♡ケツマン♡おっ♡
肛門におっちゃんぽおおお♡♡♡
おおお——♡最高おっ♡
おほっ♡おおお——♡
きんもちいいいいいい——♡♡」



「あっ♡あえっ♡♡んあええっ♡♡
アナルっ♡アナルセックスさいこっ♡おっ♡
超きぼぢいいいっ♡いひっ♡私っ♡♡
マンコは処女なのにつ♡あひひひっ♡
アナルにハマってるっ♡♡変態なんですっ
ふうっ♡あはっ♡あっ♡♡」



「なんでチンポ抜いちやうんですかあ!?!
私のケツマンゴっ♡気持ちよくなかったですか!?!
いれてっ!?!チンポいれてくださいっ!?!
ほらあっ...私のケツ穴足りなくって
ぐばぐば求愛しちゃってますっ♡♡」



「肛門っ♡肛もおんっ♡♡私のスケベ肛門に
チン…ぽ…を…」



「えっ…ええっ???
な…私なに…えっ…!?
い…いやあ…見ないでください!!
あれ…動けないっ…んっ…なんで!!」



「……………」
それ……そのペン……！
ただの噂だと思ってたのに……まさか……
うっ……んっ……さっきからお尻が熱くて……
一体私に何を書いたんですか!？」



「ま…まだ何か書くつもりなんですか!?!
やめっ…んっ…! やめてください!!!
お尻にはっかり…
一体なにを書いているんですか!
お尻が…私のお尻…今どうなって…!」



「あ……………」



「おっ♡ちんぽっ♡ちんぽおっ♡♡♡
いれてっ♡いれていれていれていれてっ♡♡
ハメてっ♡今すぐうっ♡ケツ穴っ♡♡
わたしのケツ穴にちんぽっ♡ちんぽちんぽっ♡
ちんぽおっ♡はやくうっ♡うっ♡♡♡
うっ♡ちんぽっ♡ほしいのおおっ♡♡♡」



「ぬおおおおおおおおおおおおおおおっ♡♡♡♡
おっ♡♡おおおお——っ♡♡♡♡♡♡♡♡
おおおおお——っ♡♡ちんぽっ♡ちんぽお——っ♡
きたっ♡♡キタあああっ♡♡ほっ♡ほっ♡
うっほおおおおお——っ♡♡♡♡」



「あああああ
ああああああつ♡きぼぢいいのとおおとおお♡
ケツ穴あああああああああああああ♡♡♡♡
あああああ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
アナルうっ♡♡ケツマンコおおっ♡肛門せっくしゅっ♡
きもちいいの♡♡きもちいいの♡♡おとおお♡♡
あひっ♡あひああああああああああ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
」

